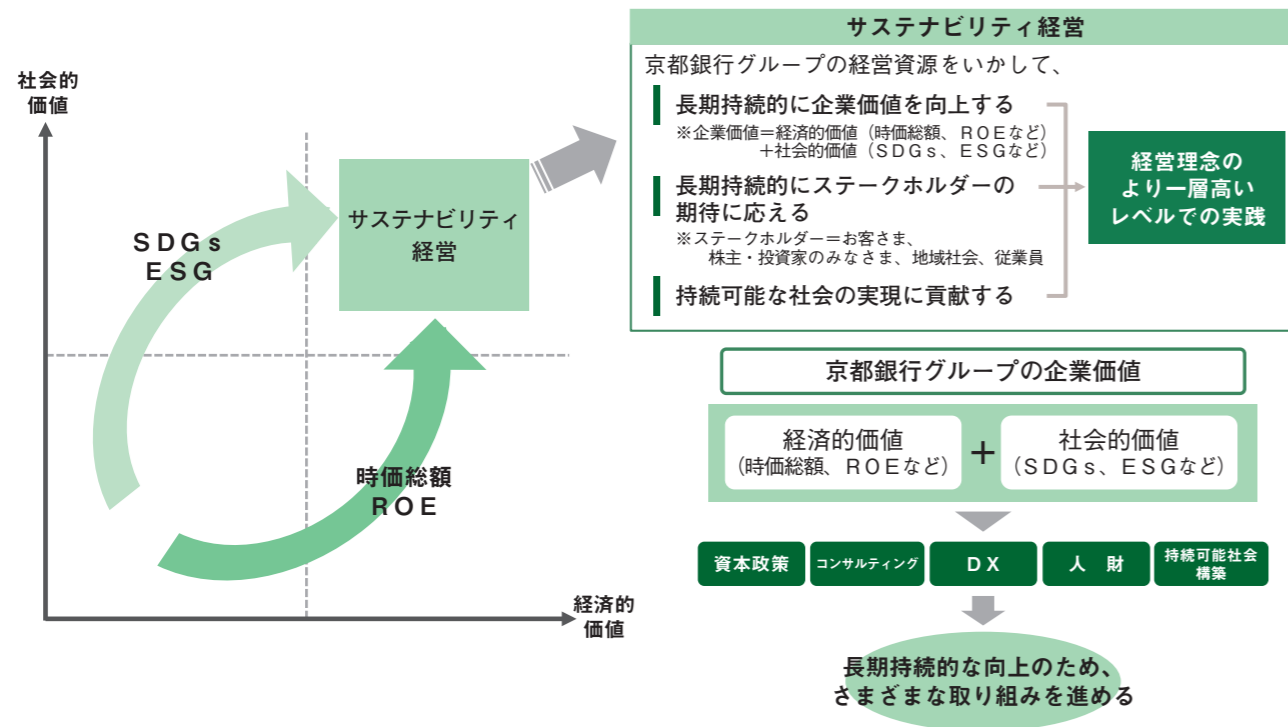


サステナビリティ経営の実践

京都銀行グループは、「地域社会の繁栄に奉仕する」を経営理念として掲げ、創立以来、地域社会とともに歩む地域金融機関として、地域の社会的課題や環境問題の解決に取り組み成長してまいりました。

「経営理念のより一層高いレベルでの実践」と位置付けるサステナビリティ経営を推進し、持続可能な社会の実現に向けた具体的な取り組みを進めることで、経済的価値と社会的価値を高め、長期持続的に企業価値を高めてまいります。

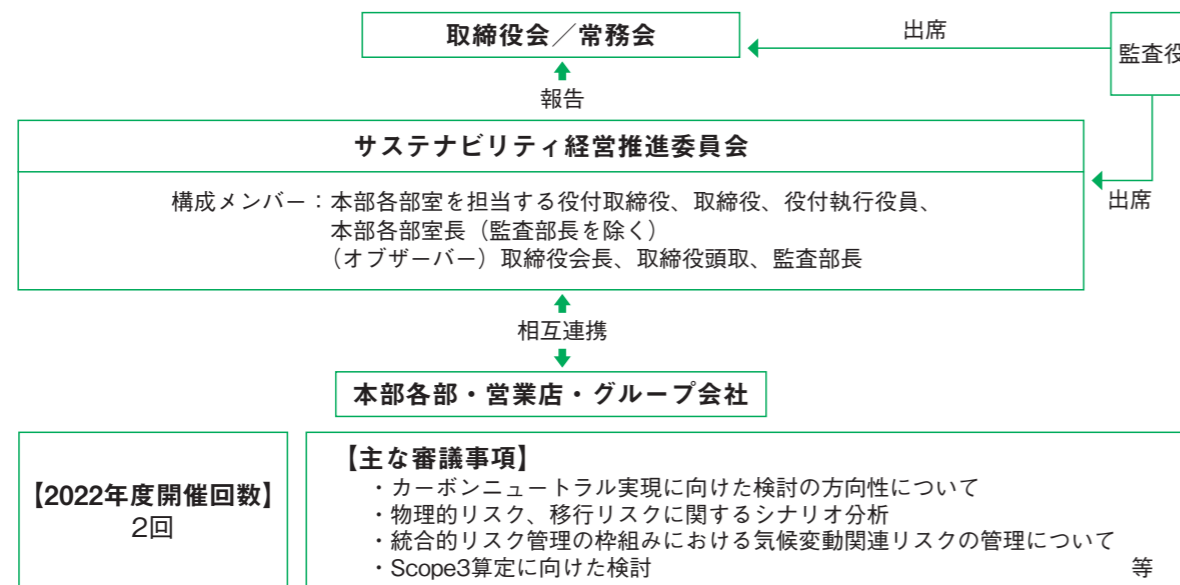
■長期持続的な企業価値向上に向けて



推進体制

サステナビリティ経営推進委員会において、気候変動を含むサステナビリティ関連諸課題の重要事項等を審議し、審議事項等を取締役に報告する体制としており、当行全体での取り組みを推進しております。

■京都銀行グループのサステナビリティ経営推進体制



(2023年7月1日現在)

お客様のサステナビリティ経営の実現に向けて

SDGsという言葉は十分に浸透しておりますが、いざ取り組もうとすると、「言葉は知っているが、何をすればよいかわからない」という中堅・中小企業も少なくありません。

当行では、「京銀SDGs宣言サポート」「京銀サステナビリティ経営サポート」「京銀SDGs実行サポート」と、入り口の「理解」から「実践」、「評価」を含めた一貫したコンサルティング体制を構築しております。

また、お客様の取り組みを金融面からサポートするサステナブルファイナンスの拡充・推進にも取り組んでおり、外部機関の評価を取得する国際基準のファイナンス、手数料の一部を利用して寄付・寄贈を行う寄付型私募債、災害等リスク対策やBCPに利用できる融資など、お客様の取り組みに合わせた支援を行っております。

持続可能な地域づくりに向けた取り組み

京都銀行グループでは、自社自身のサステナビリティ経営体制の整備、お客様のサステナビリティ経営の実現に向けた取り組みに加えて、地域全体の持続性向上に向けた取り組みも行っております。

■ファンドを活用した取り組み

地域づくりにおいても、これまでの中小企業支援で培ってきたファンド投資による伴走支援のノウハウを活用した取り組みを行っております。2021年1月に、一般財団法人民間都市開発推進機構との共同出資により「京銀まちづくりファンド」を設立し、宇治市、舞鶴市、南丹市の活性化に関する取り組みを行っております。また、同年3月には、当行のほか京都府内に本店を置く信用金庫および観光地域づくり法人（DMO）と協調して「地域づくり京ファンド」を設立し、京都府全域を対象とした地域資源のリノベーション等に向けた取り組みも進めております。

■行政施策と連携した取り組み

地域全体の活性化につながる行政施策等と連携した取り組みにも注力しており、自治体・DMOなどによる観光庁の「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」への応募支援に取り組んでおります。

また、採択された案件に対して、融資や上述のファンドを通じてファイナンス面を支援するなど、継続的な支援に取り組んでおります。

■取組事例



「日本茶の本場で長期滞在しながら茶業を学ぶことができる宿泊施設」
※「地域づくり京ファンド」からも出資した案件



「滞在型観光を楽しめる古民家一棟貸宿泊施設」